I-O DATA

BS DIGITAL RECORDING HDD

（**HVR-HD80**） 取扱説明書



111787-01

もくじ

お読みになる前に 1
必ずお守りください 2

特長 6
内容物を確かめる 7
各部の名称 8
前面 8
背面 9
設置・接続しよう 10
チューナー（内蔵テレビ）に合わせてモードを切り替える 10
設置する 10
接続する 11
電源を入れる 11
本製品を使おう 12
i.LINK機器として登録 12

付録 13
録画のしくみ 14
モード 1 の場合 14
モード 3 の場合（出荷時設定） 14
番組を消去する 15
ロックしよう 16
ロック機能とは？ 16
ロック状態の確認方法 16
これから録画する番組をロックする（オートロック機能） 17
再生中の番組をロック／解除する 17
全ての番組のロックを解除する 17
仕様 18
ご意見・ご質問はこちら 19
修理について 20

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	RecPOT(HVR-HD80)

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
⊘	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
●	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠ 警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



金属などの端面への接触

本体の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く



電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない
- ねじらない
- 重ねて使わない

必ずお守りください（つづき）

⚠ 警告


厳守

電源プラグの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。


厳守

電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。


厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。


感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。


禁止

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。


禁止

コンセントや配線機器の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしないでください

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。


接触禁止

接触禁止

雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。


禁止

通気孔をふさがない

前背面にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


厳守

電源プラグのほこりは定期的にそうじしてください

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。


分解禁止

修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。
分解・改造した場合は保証期間であっても有償修理となる場合があります。


禁止

装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。
火災や感電の原因になります。


禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。


水濡れ禁止

水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室での使用は特にご注意ください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）


禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。

必ずお守りください（つづき）

⚠ 注意

厳守

接続したままで移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。

禁止

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

厳守

配線について

電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。

禁止

本製品に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。

禁止

本製品は下記のような場所で使用しない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ

禁止

本製品は日本国内仕様です

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。
This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

必ずお守りください（つづき）

使用上のご注意

■お手入れについて

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。感電の原因となることがあります。

■大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。
・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消去されてしまう事があります。

■記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナー（内蔵テレビ）でご覧ください。
他のチューナー（内蔵テレビ）では、再生できない場合があります。また、本製品に記録された番組は、全てのチューナー（内蔵テレビ）で再生できることを保証するものではありません。

■ハードディスクについて

本製品はハードディスクに映像を記録しています。
ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意下さい。

・衝撃をあたえないでください。
・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。
・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

■著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のための信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

■著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

特長

本製品は、BSデジタルチューナー（内蔵テレビ）やCSデジタルチューナーとi.LINKで接続し、BSデジタルハイビジョンやCSデジタル放送をデジタル録画するハードディスクです。
ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

BSデジタルハイビジョン放送をそのまま録画

本製品は、松下電器産業株式会社のデジタル家電用ハードディスク「AVHDD」を使用しています。
i.LINKによるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されているBSデジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使用しているD-VHSに比べてアクセススピードが格段にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

チューナー（内蔵テレビ）のリモコンによるダイレクト操作

録画や再生などのほとんどの操作を、BSデジタル機器の付属リモコン側で行えます。

i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK機器のため、i.LINKケーブル１本で簡単に接続することができます。

内容物を確かめる

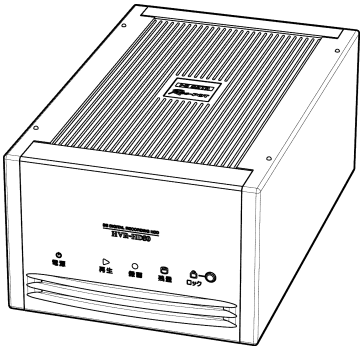
ここでは、本製品の内容物をご案内します。

参考

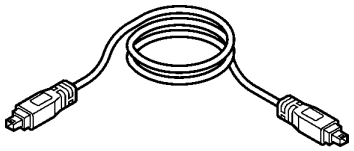
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

☐ **BSデジタルハイビジョン放送対応レコーディングハードディスク（１台）**［Rec-POT］



☐ i.LINK**ケーブル（１本：**1.5m**）**



☑ **Rec-POT取扱説明書（１冊：本書）**

☐ **必ずお読みください・対応表（１枚）**

☐ **ハードウェア保証書（１枚）**

☐ **ユーザー登録カード（１枚）**

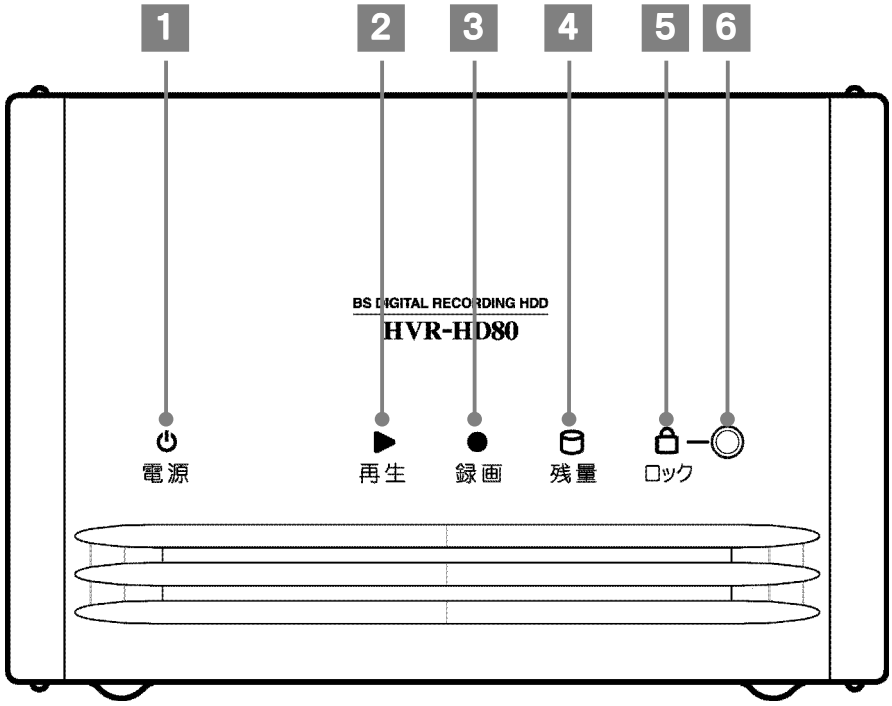
参考

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

各部の名称

ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

前面



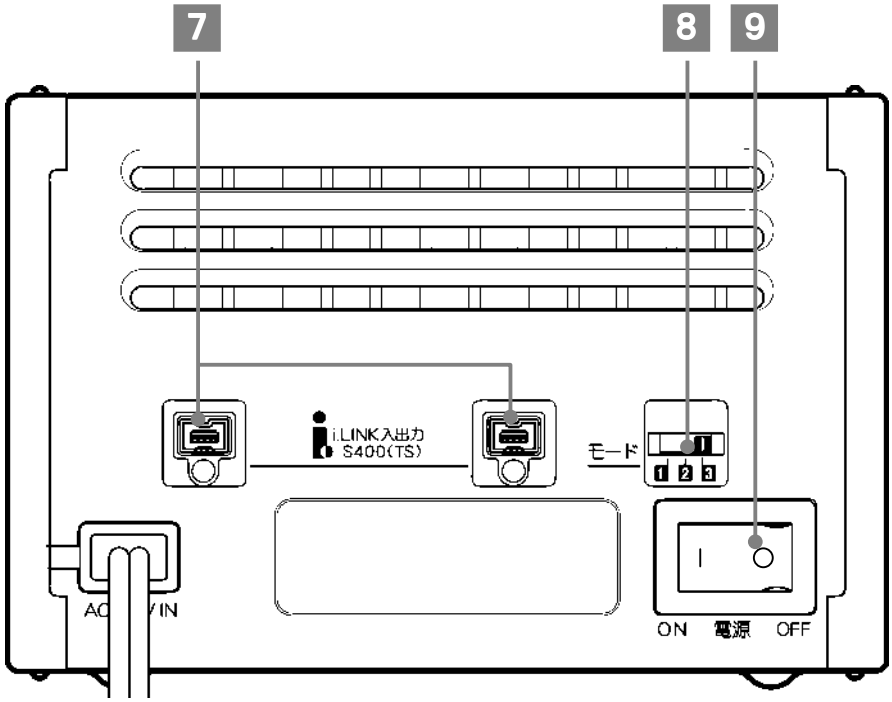
名称	説明
1 電源ランプ※1	**明点灯**　動作状態です **暗点灯**　待機状態です
2 再生ランプ	**点灯**　再生中です **点滅**　再生を一時停止しています
3 録画ランプ	**点灯**　録画中です **点滅**　録画を一時停止しています
4 残量ランプ※1※2	**点灯**　記録容量が残り少ない状態です（HDレートで1時間以下） **点滅**　記録容量がありません
5 ロックランプ※2	**停止状態** **点灯**　オートロック機能がONになっています **再生・録画状態** **点灯**　現在再生・録画されている番組はロックされています
6 ロックボタン	ロック機能の設定を行います。（16ページ参照）

※1 電源ランプと残量ランプが同時に点滅した場合、本製品はエラー状態です。一度、本製品の主電源を切り、しばらくしてからもう一度主電源を入れてください。

※2 モードスイッチを1にした場合（10ページ参照）、このランプは点灯しません。

各部の名称（つづき）

背面



名称	説明
7 i.LINK端子	i.LINKケーブルで、チューナー（内蔵テレビ）や他のi.LINK機器と接続します。
8 モードスイッチ	接続するチューナー（内蔵テレビ）によっては、モードの設定を行います。（10ページ参照） ※ 出荷時にはモード3になっています。
9 主電源スイッチ	本製品の主電源を入／切します。 本製品を使用時は、常に主電源を入れた状態にしておいてください。

設置・接続しよう

ここでは、本製品の設置・接続について説明します。

チューナー（内蔵テレビ）に合わせてモードを切り替える

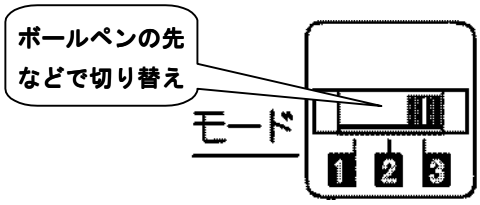
通常のチューナー（内蔵テレビ）では、本製品のモードを 3 にしてお使いいただけます。
（出荷時に、本製品のモードは 3 になっています。）

参考

一部のBSデジタルチューナー（内蔵テレビ）は、モード 1 に切り替える必要があります
それぞれのチューナー（内蔵テレビ）で使うためのモードについては、「必ずお読みください・対応表」のモード欄をご覧ください。

注意

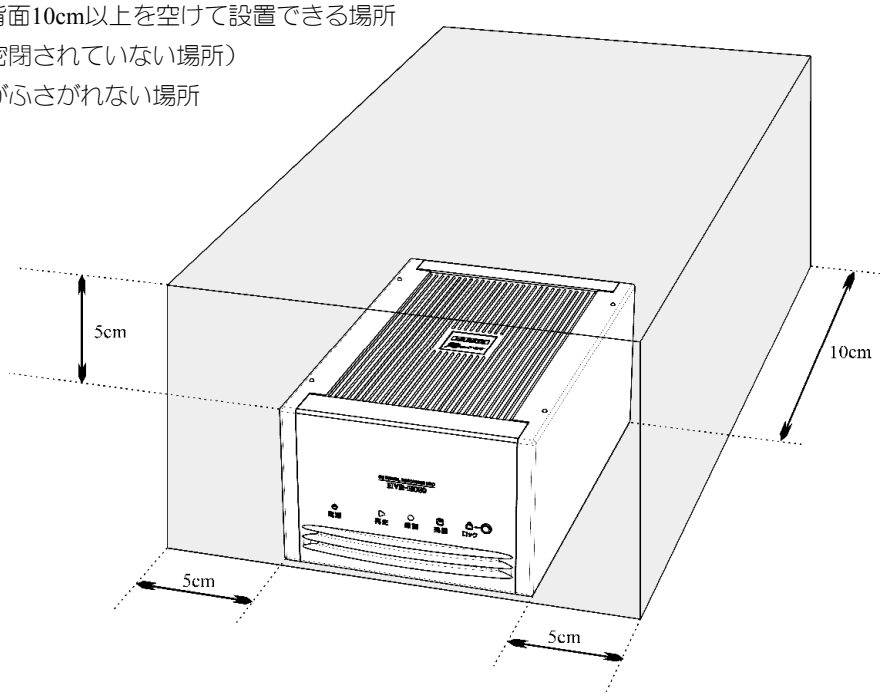
モード 2 には、切り替えないでください
本製品では、モード 2 は使用しておりません。モードは必ず 1 か 3 に設定してください。



設置する

次のような場所に設置してください。

- 左右5cm，上面5cm，背面10cm以上を空けて設置できる場所
- 風通しの良い場所（密閉されていない場所）
- 前面、背面の通気孔がふさがれない場所
- 水平で安定した場所

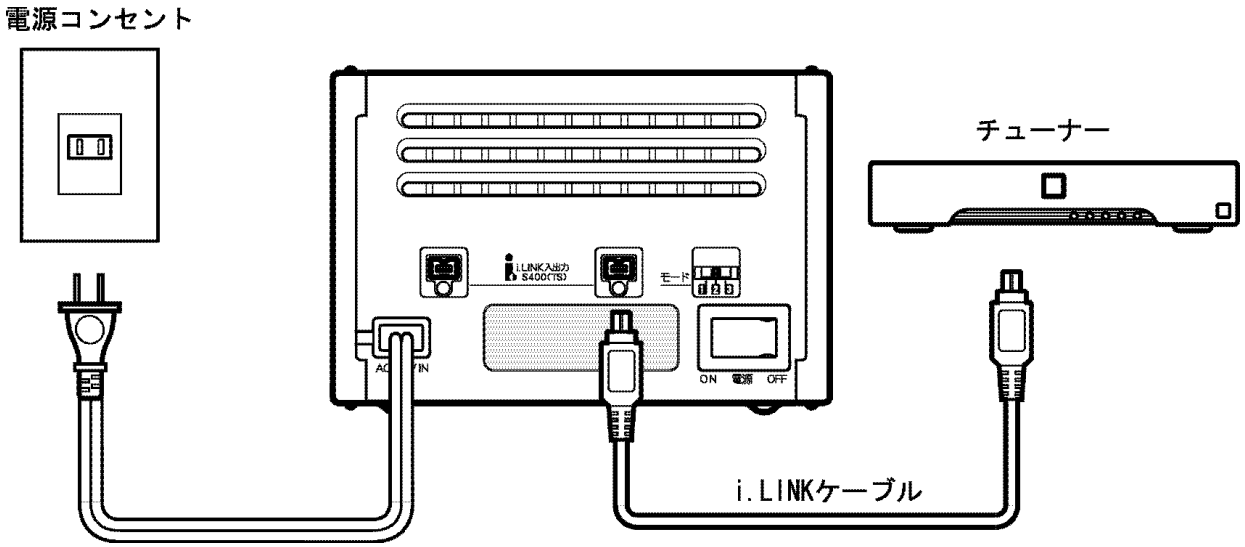


注意

下記にご注意ください
- テレビやチューナーなどの上には設置しないでください。
- 本製品の上には、何も置かないでください。

設置・接続しよう（つづき）

接続する

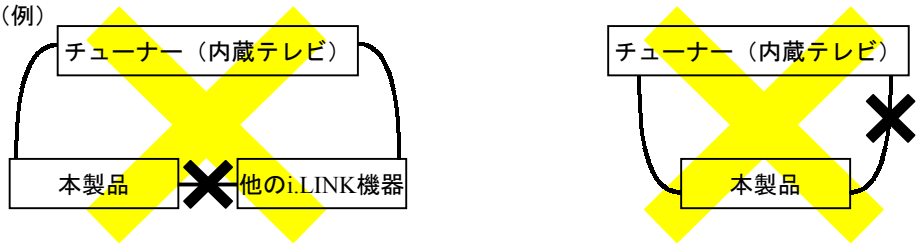


注意

ループ接続をしないでください

i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。輪にならないように接続してください。

（例）



参考

i.LINK端子はどちらに接続してもかまいません

i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

映像・音声コードは使いません

本製品は、i.LINKケーブルのみの簡単接続です。他のケーブルは必要ありません。

チューナー（内蔵テレビ）側で接続に注意・制限事項がある場合があります

チューナー（内蔵テレビ）の取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません

本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただくことはできません。あらかじめご了承ください。

電源を入れる

接続を終えたら、本製品の背面にある主電源スイッチをONにしてください。

⇒電源ランプが点灯します。

主電源が入ってから、本製品が使えるようになるまで約20秒ほどかかります。

※ 長時間使わない時を除いて、主電源は切らないでください。

本製品を使おう

本製品を使うには、下の流れに沿って作業をする必要があります。

チューナー（内蔵テレビ）に接続

接続方法については、【設置・接続しよう】(10ページ)をご覧ください。

↓

i.LINK機器として登録

下の【i.LINK機器として登録】をご覧ください。

↓

本製品を使う

各チューナー（内蔵テレビ）の取扱説明書に、i.LINK機器の使い方が記載されています。
そちらをご覧ください。

参考

本製品に録画されるしくみ

【録画のしくみ】(14ページ)をご覧ください。

録画した番組を保護する方法

【ロックしよう】(16ページ)をご覧ください。

i.LINK機器として登録

本製品を使うには、チューナー（内蔵テレビ）にi.LINK機器として登録される必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。
各チューナー（内蔵テレビ）の取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。

参考

本製品は、下のように登録されます

モード 1 の場合、本製品はハードディスクレコーダー(HDR)として動作します。
「HDR　I-O DATA　HVR-HD80」として登録されます。

モード 3 の場合、本製品はD-VHSとして動作します。
「I-O DATA　HVR-HD80」として登録されます。

本製品以外のi.LINK機器が登録されていると正常に動作しないことがあります

その場合は、本製品以外のi.LINK機器の登録を削除してください。

付録

録画のしくみ 14
- モード 1 の場合 14
- モード 3 の場合（出荷時設定） 14
- 番組を消去する 15

ロックしよう 16
- ロック機能とは？ 16
- ロック状態の確認方法 16
- これから録画する番組をロックする（オートロック機能） 17
- 再生中の番組をロック／解除する 17
- 全ての番組のロックを解除する 17

仕様 18

ご意見・ご質問はこちら 19

修理について 20

録画のしくみ

ここでは、録画のしくみについて説明します。
本製品の録画のしくみは、モードによって異なります。

参考

録画できる時間の目安

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　約7時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）　約21時間
※ これらの録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大127までとなります。

注意

15秒より短い番組は録画できない場合があります

必ず録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。

モード 1 の場合

録画するためには、本製品の残量が必要です。残量が無くなると、録画できなくなってしまいます。
残量が少ない場合は、チューナー（内蔵テレビ）側の操作で不要な番組を消去してください。

参考

モード 1 ではロック機能(16ページ)を使えません

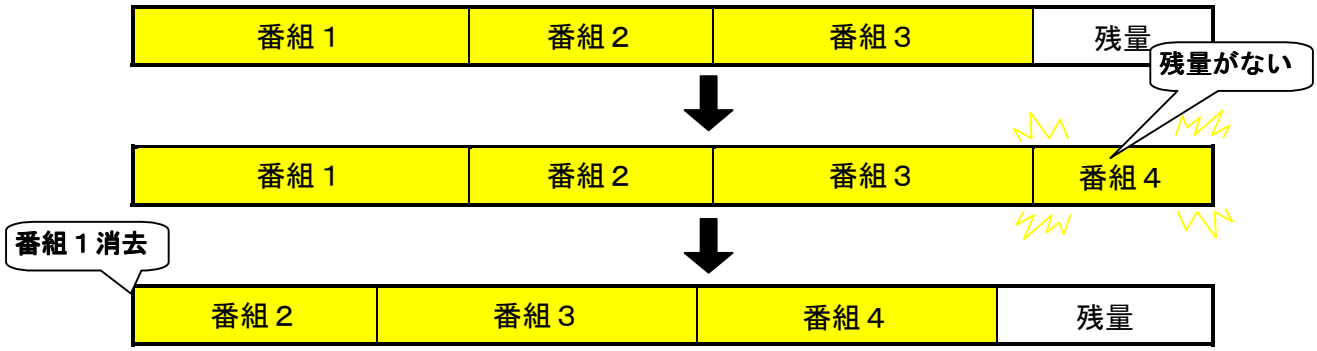
モード 1 では、自動で番組が消去されません。
そのため、ロック機能を使うことはできません。

モード 1 では残量ランプ(8ページ)が光りません

本製品の残量は、チューナー（内蔵テレビ）側の操作で確認してください。

モード 3 の場合（出荷時設定）

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、古い番組から順に消去していきます。
消去されたくない番組はロック機能(16ページ)で保護してください。



参考

録画中の番組を消しながら、録画を続けることはありません

そのため、上の【録画できる時間の目安】に記載されている時間を超えて、録画することはできません。録画を続けられなくなった時点で、本製品は録画を終了します。

録画のしくみ（つづき）

番組を消去する

ここでは、本製品内に録画されている全ての番組を消去する方法を説明します。
録画できる容量や番組数が少ないときなどに、お使いください。

注意

消去した番組は元に戻りません
必要な番組や、必要になる可能性のある番組がないかご確認ください。

ロックした番組(次ページ参照)も消去されます
本作業では、ロックの有無には関係なく全ての番組を消去します。
ロックした大事な番組を消去しないようにご注意ください。

参考

各番組を消去する方法
モード 1 でお使いの場合は、チューナー側の操作で番組の消去を行えます。
モード 3 でお使いの場合は、各番組を消去する方法はありません。
前ページのように、古い番組から自動的に消去されていきますので、そのままお使いください。

1 チューナー側の操作で再生・録画を終了し、本製品を停止状態にします。

⇒「再生ランプ」「録画ランプ」が消灯します。

2 本製品の主電源を切ります。

参考

次の手順で、ロックボタンは押し続けてください
再生ランプと録画ランプが交互に点滅するようになるまで押し続けます。

3 「ロックボタン」を押しながら、本製品の主電源を入れます。

ロックボタンは押し続けてください。（約20秒）
⇒再生ランプと録画ランプが交互に点滅します。
本製品は、全初期化モードになりました。

4 「ロックボタン」を押します。

⇒ロックランプが点灯し、全ての番組が消去されます。
消去作業が終了すると、再生ランプ・録画ランプ・ロックランプは消灯し、本製品は通常の状態に戻ります。そのまま本製品をお使いください。

ロックしよう

ここでは、ロック機能について説明します。

注意

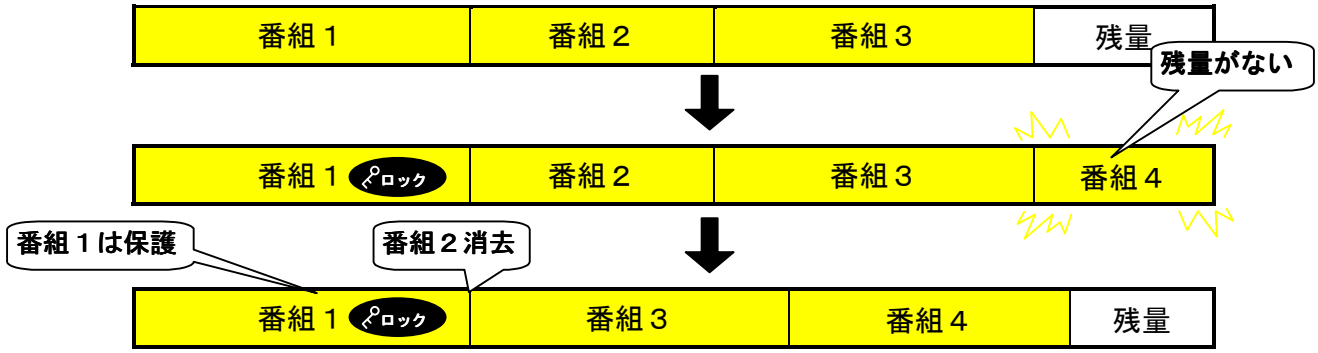
モード 1 ではロック機能を使えません

モード 1 では、自動で番組が消去されません。
そのため、ロック機能を使うことはできません。

項目	ページ
ロック機能とは？	本ページ
ロック状態の確認方法	
これから録画する番組をロックする（オートロック機能）	次ページ
再生中の番組をロック／解除する	
全ての番組のロックを解除する	

ロック機能とは？

ロック機能とは、録画した番組を保護するための機能です。
ロックされた番組は、消去されなくなります。



注意

録画できる容量・番組数にご注意ください

多くの番組をロックすると、実際に録画できる容量・番組数(14ページの参考)が少なくなります。
ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

ロック状態の確認方法

● **「ロックランプ」(8ページ)の点灯を確認します。**

「ロックランプ」に対応したロック状態については、【各部の名称】(8ページ)をご覧ください。

ロックしよう（つづき）

これから録画する番組をロックする（オートロック機能）

オートロック機能とは、ONにしてから録画される全ての番組をロックするものです。

1 チューナー側の操作で再生・録画を終了し、本製品を停止状態にします。

⇒「再生ランプ」「録画ランプ」が消灯します。

2 「ロックボタン」を押します。

⇒ピッと音がして、オートロック機能がON／OFFされます。
状態に応じて、ロックランプが点灯／消灯します。

注意

オートロック機能をOFFにしても、番組のロックは解除されません

オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【再生中の番組をロック／解除する】または【全ての番組のロックを解除する】の作業を行う必要があります。

ロックボタンを3秒以上押さないでください

ロックボタンを3秒以上押すと、【全ての番組のロックを解除する】の作業になってしまいます。

再生中の番組をロック／解除する

1 ロック／解除する番組を再生し、「再生ランプ」の点灯を確認します。

番組を再生する方法については、【本製品を使おう】(12ページ)の後で、各チューナー（内蔵テレビ）の取扱説明書をご覧ください。

2 「ロックボタン」を押します。

⇒ピッと音がして、現在再生中の番組がロック／解除されます。
状態に応じて、ロックランプが点灯／消灯します。

全ての番組のロックを解除する

1 「再生ランプ」「録画ランプ」が点灯・点滅していないことを確認します。

2 「ロックボタン」をしばらく（3秒以上）押します。

3 ピッと音がした後、ピーッと音がしたら「ロックボタン」を放します。

⇒全ての番組のロックが解除されます。

仕様

ここでは、本製品の仕様を説明します。

製品名	BSデジタルハイビジョン放送対応レコーディングハードディスク Rec-POT
型式	HVR-HD80
HDD容量	80Gバイト
インターフェイス	i.LINK(2系統)　4ピン S400 DTCP対応
対応ストリーム	MPEG2-TS
ストリーム処理能力	HDストリーム対応(28.3Mbps)
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	動作時　11W 待機時　6W
外形寸法	116(W) × 77(H) × 186(D) mm
質量	約1.5kg
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）

ご意見・ご質問はこちら

電話

■ 電話番号　金沢（本社）　076-260-3646
　　東京　　03-3254-1036

■ 受付時間　9:30 ～ 19:00（土・日曜／祝祭日は除く）

FAX

■ FAX番号　金沢（本社）　076-260-3360
　　東京　　03-3254-9055

インターネット

■ ホームページ　http://www.iodata.jp/support/

※ 本製品に関するお問い合わせは、こちらでのみ行っております。
　あらかじめご了承ください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
明らかに故障の場合は、下記内容をご参照の上、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理について（つづき）

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
5) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
6) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
9) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。
10) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- “AVHDD”は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HVR-HDシリーズ 取扱説明書

2002.Mar.29　111787-01

発　行　株式会社アイ･ オー･ データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。